

救命救急センターの年間重篤患者数(令和6年実績)

番号	疾病名	基準(基準を満たすもののみ数えること)	市立四日市病院	県立総合医療センター	三重大学医学部 附属病院	伊勢赤十字病院
			R6	R6	R6	R6
1	病院外心停止	病院への搬送中に自己心拍が再開した患者及び外来で死亡を確認した患者を含む。	241	182	215	215
2	重症急性冠症候群	切迫心筋梗塞又は急性心筋梗塞と診断された患者若しくは緊急冠動脈カテーテルによる検査又は治療を行った患者	218	99	76	177
3	重症大動脈疾患	急性大動脈解離又は大動脈瘤破裂と診断された患者	62	42	32	98
4	重症脳血管障害	来院時JCS100以上であった患者、開頭術、血管内手術を施行された患者又はtPA療法を施行された患者	160	121	107	251
5	重症外傷	Max AISが3以上であった患者(緊急手術が行われた症例は含まない)	37	230	167	526
		緊急手術が行われた患者(Max AISが3以上であった患者は含まない)	148	36	68	37
		Max AISが3以上かつ緊急手術が行われた患者	44	16	48	48
6	指肢切断 (四肢もしくは指趾の切断)	四肢もしくは指趾の切断ないし不全切断と診断され、再接合術が実施された患者	16	0	7	0
7	重症熱傷	Artzの基準により重症とされた患者	2	2	7	4
8	重症急性中毒	来院時JCS100以上であった患者又は血液浄化法を施行された患者	5	3	7	8
9	重症消化管出血	緊急内視鏡による止血術を行った患者	79	50	32	84
10	敗血症	感染症によって重篤な臓器障害を引き起こされた患者	257	42	47	129
	敗血症性ショック	敗血症に急性循環不全を伴い、細胞組織障害および代謝異常が重度となる患者	79	29	26	67
11	重症体温異常	熱中症又は偶発性低体温症で臓器不全を呈した患者	15	14	4	39
12	特殊感染症	ガス壊疽、壊死性筋膜炎、破傷風等と診断された患者	4	3	3	4
13	重症呼吸不全	呼吸不全により、人工呼吸器を使用した患者(1から12までを除く。)	22	73	38	55
14	重症急性心不全	急性心不全により、人工呼吸器を使用した患者又はSwan-Ganzカテーテル、PCPS若しくはIABPを使用した患者(1から12までを除く。)	49	64	20	68
15	重症出血性ショック	24時間以内に10単位以上の輸血が必要であった患者(1から12までを除く。)	5	4	22	2
16	重症意識障害	来院時JCS100以上の状態が24時間以上持続した患者(1から12までを除く。)	35	18	4	5
17	重篤な肝不全	肝不全により、血漿交換又は血液浄化療法を施行された患者(1から12までを除く。)	0	0	2	1
18	重篤な急性腎不全	急性腎不全により、血液浄化療法を施行された患者(1から12までを除く。)	2	2	10	10
19	その他の重症病態	重症肺炎、内分泌クリーゼ、溶血性尿毒症性症候群等に対して持続動注療法、血漿交換又は手術療法を施行された患者(1から18までを除く。)	67	0	65	4
合 計			1,468	1,001	981	1765

※令和6年10月1日～
12月31日の実績

松阪中央総合病院
R6
38
26
8
27
107
3
7
0
0
1
9
18
4
0
0
14
8
0
12
0
0
0
278